

## <ポイント版> ぎふ経済レポート（令和5年4月分）

### 【製造業】

○製造業は、2月の鉱工業生産指数は前月比3.6%上昇となった。ヒアリングでは、需要の回復や半導体不足が解消しつつあることから、売上はコロナ前よりも増加しているとの声が聞かれた一方で、原材料やエネルギー価格上昇分の価格転嫁が追いつかず、利益はコロナ前より減少しているとの声や、部品の入荷遅延が解消せず、製品の完成が遅れているとの声、更にはEV化の動きから打ち切りになる製品があり、新商品開発に力を入れているとの声が聞かれた。

### 【地場産業】

○地場産業は、2月の鉱工業生産指数は、家具及びパルプ・紙で上昇した。ヒアリングでは、インバウンド回復により、観光客による売上が好調との声や、海外向け製品は利益率が高いため、輸出比率を高めているとの声が聞かれた一方で、エネルギー価格の上昇分の価格転嫁ができず、赤字決算となる企業が増えているとの声や、価格転嫁を実施したところ売上が減少し、商品企画の変更や販路拡大を模索しているとの声が聞かれた。

### 【設備投資】

○設備投資は、3月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比▲15.2%となった。ヒアリングでは、二酸化炭素削減や省エネ目標を立て、太陽光発電の導入や社内のLED化・インバーター化を進めているとの声が聞かれた一方で、設備の老朽化により更新を検討している企業が多いが、改修費用（融資金）を返済するまで事業を継続できるかなどの観点から、設備投資を実施しない企業も多いとの声が聞かれた。

### 【個人消費】

○個人消費は、3月の販売額は、ドラッグストア、コンビニで前年同月比上昇し、全体で同0.2%上昇となった。ヒアリングでは、イベントの開催や観光客の増加により、売上が増加しているとの声が聞かれた一方で、社会活動の平常化が進み、コロナ禍で堅調だったアウトドア分野等の売上が減少しているとの声が聞かれた。

### 【観光】

○観光は、宿泊施設からのヒアリングでは、全国旅行支援の効果により宿泊者数が増加したとの声や、インバウンドの動きが好調との声が聞かれた一方で、食費を中心とした原材料やエネルギーコストが高騰し経営を圧迫しているとの声や、人材不足が深刻化しているとの声が聞かれた。

### 【資金繰り】

○企業の資金繰りは、3月の制度融資実績は、金額は2ヶ月連続で増加した。金融機関からは、長期の資金を調達する動きが見られ、全体的に資金ニーズが旺盛となっているとの声や、ゼロゼロ融資の返済本格化を迎え、借換えや、自己資金で返済をする動きが見られるとの声が聞かれた。

### 【雇用】

○雇用面は、3月の有効求人倍率は1.61倍と19ヶ月連続で1.50倍を超えた。ヒアリングでは、全国的に賃上げの動きが加速しており、新卒を確保するためにベースアップを行ったとの声や、大手企業の採用枠拡大を受け採用活動は厳しい状況にあり、24年卒の募集開始時点の応募者数が前年比3割程度と低調であるとの声、様々な業界で専門人材の人手不足が聞かれるとの声が聞かれた。

### 【景気動向】

2月の景気動向指数（一致指数）は前月比0.8ポイント上昇、3月の中小企業の景況感と同5ポイント上昇となった。